グラビアでお馴染みのあのプロ雀士が

栞（19）衝撃のAVデビュー！

天然巨乳の卑猥なボディに妊娠確実の膣内射精！

GS glam sight

本中

グラビアでお馴染みのあのプロ雀士が衝撃のAVデビュー！

麻雀のインターハイ団体戦二年連続優勝のメンバーでもあった栞ちゃん。
卒業後は数多のAV女優を排出してきたプロチーム、ハートビーツ大宮に所属しているれっきとした麻雀のプロ雀士です。
そのはちきれんばかりの肉体を武器に、学生の頃からグラビアでも注目されていた彼女ですが、この度当社からAVデビューが決定しました！
しかも目的は子作り。そう、今回避妊などは一切なし。ガチで妊娠させることを目指します！

オナニーもHも大好き♡

栞（19）

105 minutes

税込価格 ¥800

SAKI-01

『経験人数は一人。ひとりは、今の彼女です』

いっぱい射精してぇ、赤ちゃん孕ませてぇ♡

GS glam sight
企画制作 グラムサイト
https://www.glamsight.jp/
JPEG | PDF | COLOR | 2400×1800px
SA-001 | 105min | 800YEN
07214545 69481919

●このCG集は18歳未満への販売・貸し出しを禁じます。
●このCG集の無断複製、及びネット上へのUPは禁止します。
●この作品には18歳未満の人物は出演していません。
DOJIN R18 成人向け
18歳未満の購入・閲覧禁止

グラビアでお馴染みのあのプロ雀士が
衝撃のAVデビュー！

ムチ
えー、お名前は？
「宇野沢栞です」

今回、AVデビューということですが、
グラビアとかに出てましたよね？
「あっ、はい」

スタイル抜群ですもんね。
グラビアアイドルだったんですか？
「いえ、その……プロの麻雀士で」

もしかして、数多のAV女優を
輩出してきたプロチーム。
ハートビーツ大宮所属ですか？
「えっと……はい。そうです」

なるほど、納得です。
ちなみに経験人数を聞いても？
「二人です。ひとりは男の人なんですけど、
もうひとりは今の『彼女』です」

彼女さんにAVへ出演することは伝えてるんですか？
「はい。赤ちゃんが欲しいからって伝えたら、仕方ないなって言ってくれて」
理解ある彼女さんですね。
それじゃあ、今日はたっぷり子作りしましょう。

「今のパートナーが彼女ってことは、オチンチンは久しぶりかな。咥えてもらっても大丈夫？やり方とかわかる？」
はむっ
「あっ、はい。大丈夫です。……んっ、はむ」

「んちゅ、ちゅぶ、ぢゅるる……」
「おほっ、思ったより上手だね」
んちゅ
ちゅぶ!!ぶ!!ぶ!

「んふぅ……ぢゅぶぶ、ぷちゅ、はむぅ」
「ああ……そう、裏筋に舌を這わせて……うっ、くぅ！」
んぶぅ
ぢゅるるっ

「栞ちゃん、イクよ……このままお口に射精しちゃうよ？」
「はむ、んぶ、ぢゅぶぶぶぶ、んちゅう！」
「うっ！」
んぐ～
ゲロロロッ

「はぁ、はぁ、はぁ……思いのほか上手だね」
「んっ……んン、ごくん。えっとその、彼女とするときもディルドとか舐めて挿れたりしてるんで」
ゴクン

「なるほどね。
それじゃあ、今度は上に乗ってもらおうか」
「はい……んンっ」

「どう、久しぶりに本物のチンポ挿れた感想は？」
「温かいのが奥に、当たって……気持ちいい、です」
「いいね。動くよ？」
「んン！」

「あっ、ああ、あはぁ、気持ちいい♡」
「どこに何が入って気持ちいいのか言って」
「お、オマンコ、オマンコにオチンチン出たり入ったりして、気持ちいいです」
「いいよいいよ。じゃあ、今度は中出しをおねだりして。栞に赤ちゃん孕ませてって言ってみて」

「あン、んはぁ、んン……」
あっ
「このままオマンコの奥に精子出してください♡
いっぱい、いっぱい射精してぇ、赤ちゃん孕ませてぇ♡」
「あー、いい。イク！」
ドピュッ

「ああ……すごい♡
ドクドクって出てるぅ♡」
「ははっ、すっげー出た。
こりゃ一発で命中しちゃったかもな」
ドクッ
ドクッ

「そうそう、
お尻こっちに向けて」
「んン……」
プリ

「出てきた出てきた」
「ゃあ、恥ずかしい、かも……」
ズルッ

「はい、それじゃあ一度シャワーでも浴びようか」
「はい♡」
ぐりぐり…

「こんな感じですか？」

「ああ、いいね」

キュッ

「手コキは経験がなかったんだ？」
「そうですね。他のところはよくイジってますけど」
ニチ
ニチ

「普段相手が女の子だと当然か」
「オチンチン、ピクピクしてる……。イキそうなんですか？」
ニチ
ニチ

「ああ、イクよ……ううっ！」
「あは、あったかーい♡」
ブピュッ

「さて。やっぱり巨乳といえば、これをしてもらわないとね」
「気持ちいいですか？」
ムギュ

「気持ちいいよ。
パイズリは経験あったの？」
「最初にお付き合いした彼氏に
お願いされてしてました」

「まあ、『彼女』にはしようがないもんな。
……つか、気持ち良すぎてもうイっちゃいそう。
このまま射精していい？」
「いいですよ。
いっぱい射精してください♡」

「うっ！」
「んっ、はぁ……すごい！オイ♡」
ドピュッ

「ちなみに、その最初にお付き合いした彼氏とはどういう関係で、いつ頃初体験したの？」
「ん、ンん……。初体験はぁ、白糸台へ入る前に家庭教師の先生と……です♡」
ズプ

「その頃からおっぱいはこんなに大きかったの？」
「そう、ですね。中学くらいから大きくなってきて……んッ！」
パチュッ
パチュッ
パチュン

「ああ、今子宮口に届いたのわかった？」

パチュッ

パチュッ

「はい……んふぅ、オチンチン気持ちいい……」

「あー、イク。
出すよ奥に。妊娠しろ！」

ドクッ

ビクッ

「ああ……中でオチンチンが
もっと大きく……ふあぁぁぁんン！」

「マジで最高だよ栞ちゃん」

ドクッ ドクッ

「はぁ、はぁ……いっぱい出てる♡
赤ちゃん、デキたかな？」

「それじゃあ次は、
男優さん増やすんで」
「オチンチンが二本
……んふぅ」
ぷるん
ボタタ

「んン……ふぁ♡」
「いいよ、栞ちゃん。
すごくエロいよ」

「あっ、気持ち良すぎてもう……イッていいっすか？」
「うう……俺も！」

「「うっ！」」

「……んはぁ♡
すごーい、いっぱい♡」

「それじゃあ、更にもうひとり増やして」
「ひゃん！」
ズニュ
んっ

「あー、すっげ。オマンコキツキツ」
「むぅ……ふぅ、ぢゅるるっ」
「クチマンコも最高っす！」
「おっぱいすげー」
パン
パン
パン
パン
ぢゅぽっ

「本当卑猥な身体してるよな」
「はむ、んちゅ、ぢゅぶぶ！」
「あー、出る。我慢できねぇ！」
「俺ももうイク！」
パン
パン
パン
パン
ぢゅぶぶ!!

「うっ、ああ……っ！」
「ふぐぅ……んン！」
ヒュルルッ

「種付けセックスやべー」
「んっ、んふぅ♡」
「ハイ、カットー！」
ズル
んぐ～

「はぁ、はぁ、はぁ……」
「はーい、それじゃあ最後に
カメラへ向かってピースしようか」
くぱぁ

「……ゴニョゴニョ」
「えー、それ言うんですか？……わかりました」
グッ

「……今日は栞の種付けセックスを見て頂き、
ありがとうございました。
頑張って受精するので、これからも応援して
くださいね♡」
あはっ
ドロッ

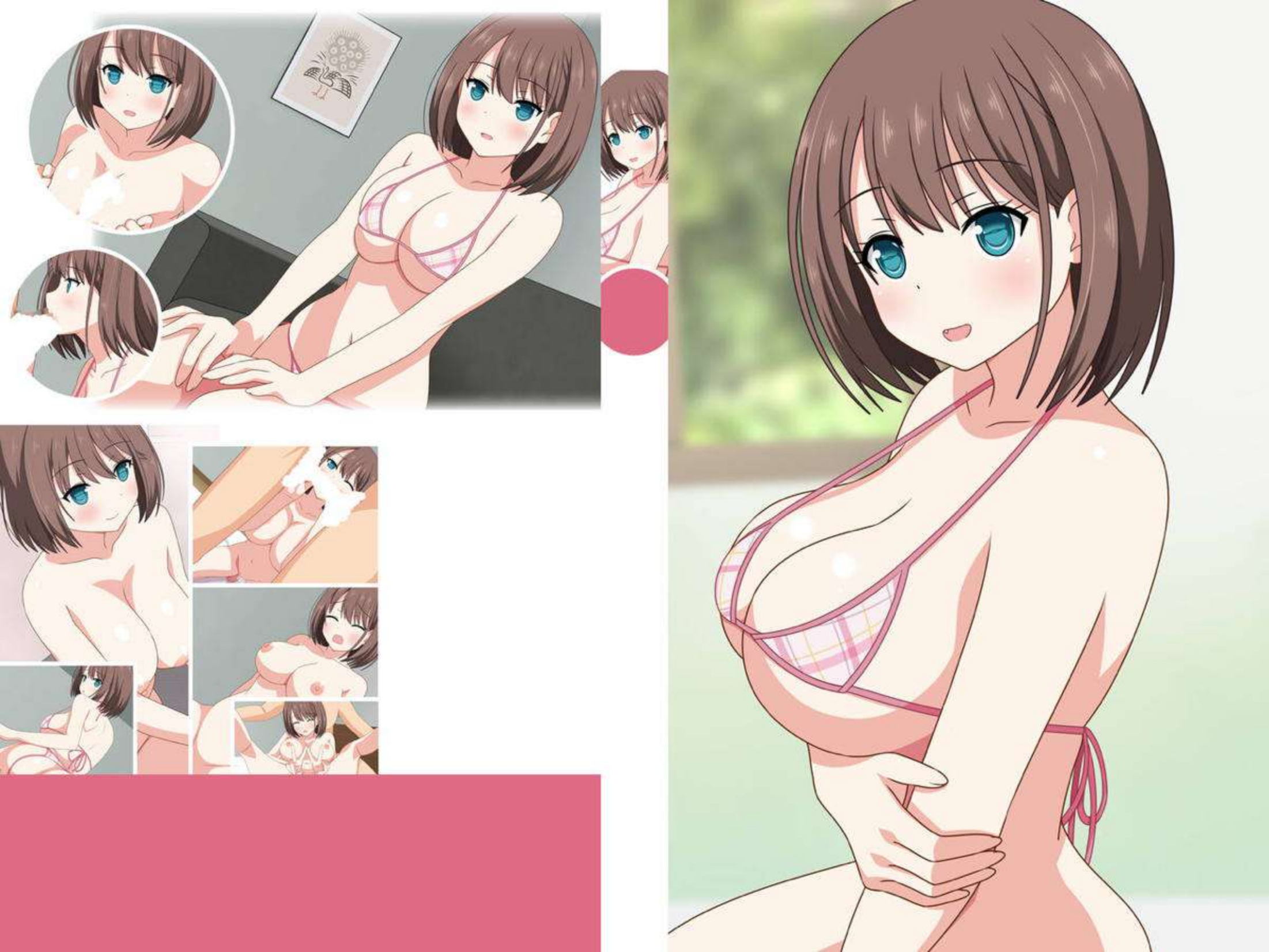
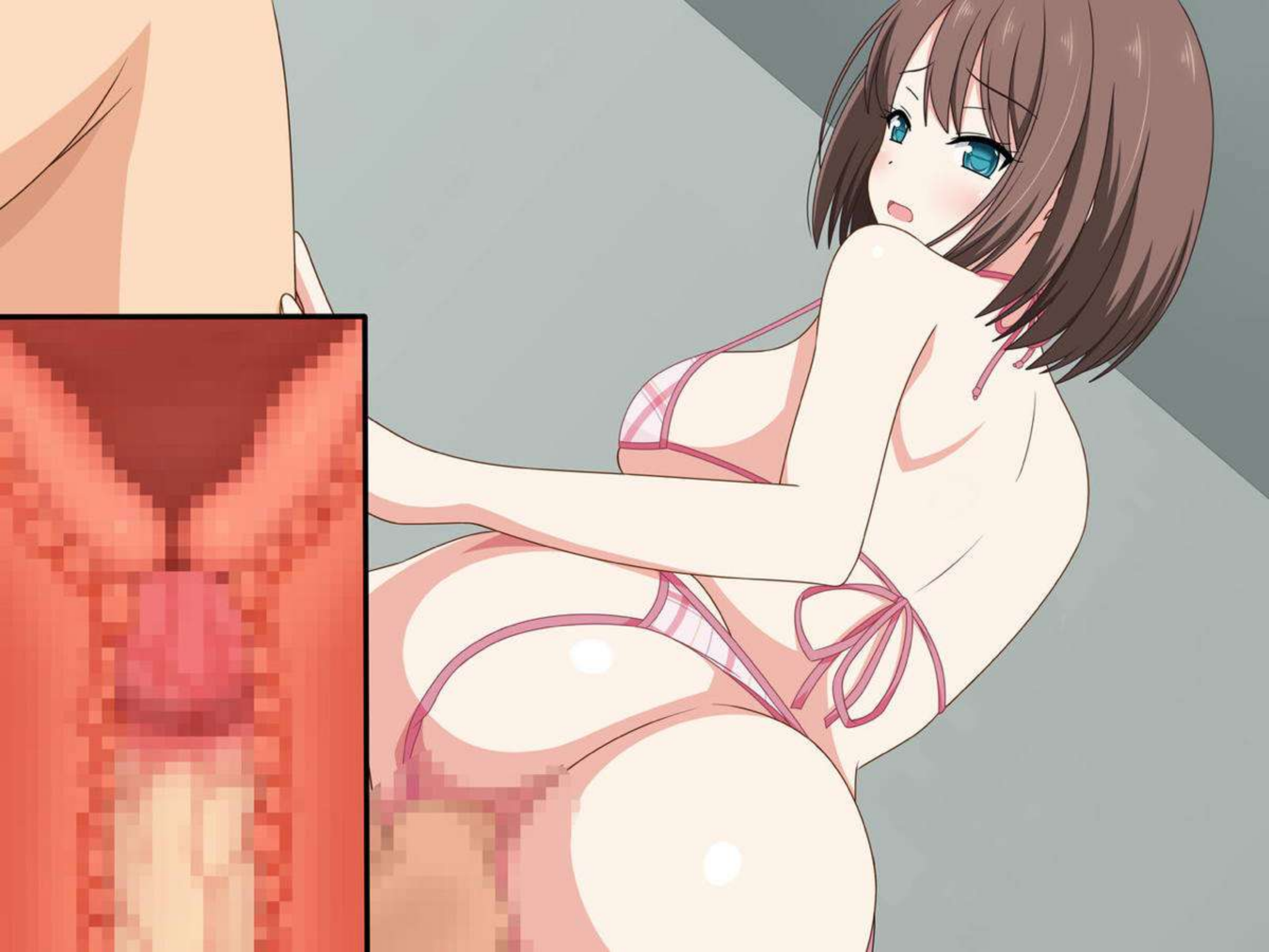
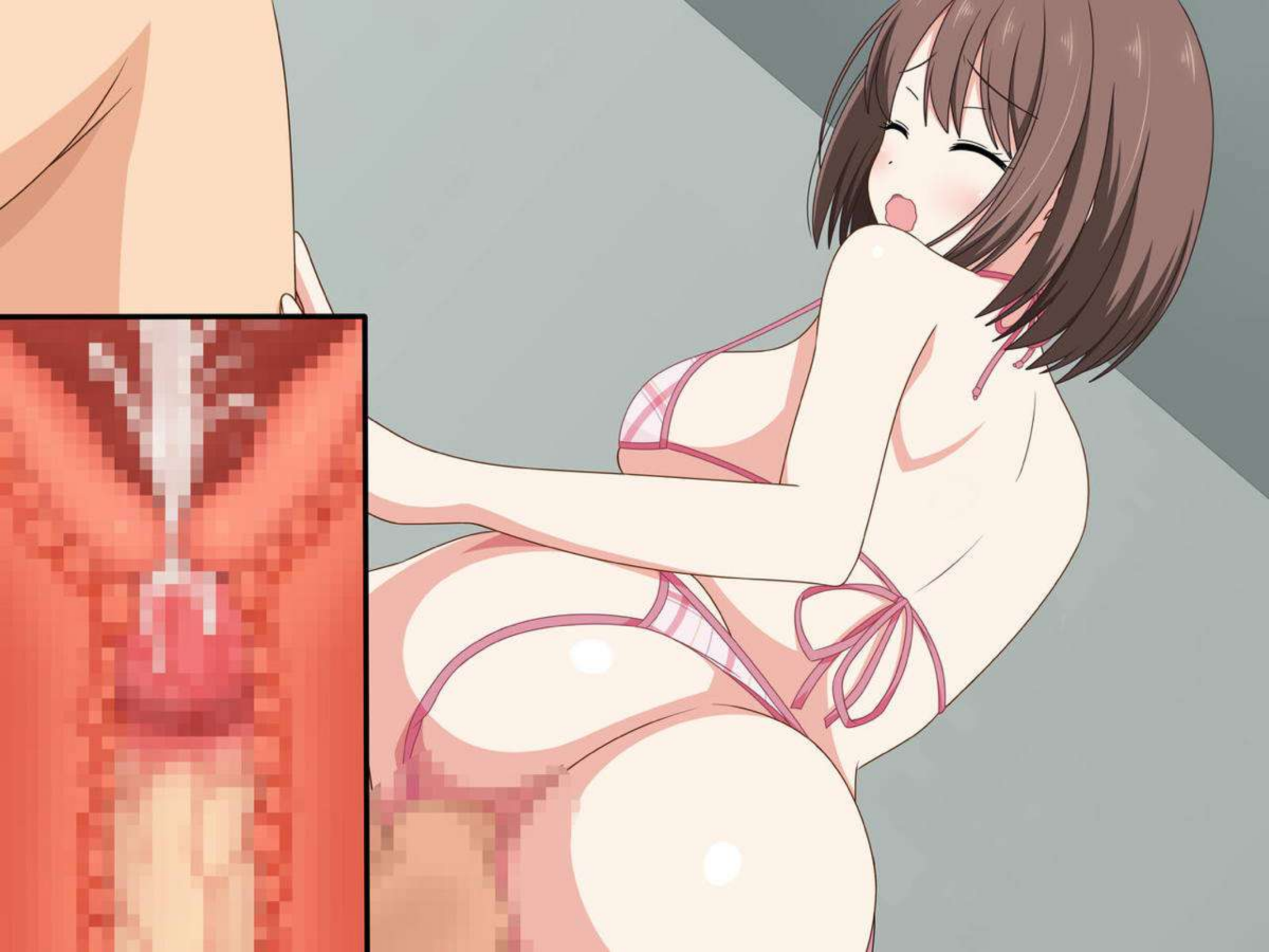
「んっ、んン……」

ダメン

「うーす、ただいまー」
『はぁ、はぁ……んン♡」

「イク……んっ、あはぁ♡」
『……って栞、お前また自分の出てるAV見ながらオナニーしてたのかよ」
ぐちゅ
ぐちゅ

「はぁ、はぁ……あっ、琉音さんおかえりー。
ゴメンね、ひとりでしちゃって」
「いや、別にいいんだけどよ。
身重なんだから程々にしとけよ？」

「心配してくれてありがとう♡」
「バカ、当たり前のことなんだから、
お礼なんていってんじゃねーよ」

『……っ』
「琉音さん大好き♡」
アハ♡